

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



104号

2008年12月11日

ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 藤和マンション問題

建築審査会の結果が、東京都安全条例違反の疑いがあることを部分的に認めながら残念なことになったので、法治国家である日本の制度に基づいて、藤和マンションが違法な道路の解釈によって建築されていることの是非を問いたいと思います。

現在、マンションは建築続行中で、隣の上板橋南口にモデルルームを作って販売に入っていますが、昨今のマンション販売不振を考えると、とても私達が歓迎できる建物ではありません。規模・外観・用途・内容、どれをとっても問題だらけです。

このような建築物の建設に加担してきた行政のあり方を変えなければなりません。

○ 日弁連、常盤台調査に来訪

12月8日(月)日本弁護士連合会の環境保全委員会の弁護士さん達が、常盤台の街と紛争現場を視察に訪れました。当初4人ほどの気楽な訪問と思っていたのですが、北海道や京都の弁護士も含めて9名もの方が、はるばる常盤台を見に来て下さいました。

午前中の会議では、国土交通省との話し合いがあったとのこと。各地で起きている建築紛争の解消に向けて、遅ればせながらさまざまな取り組みが始まったようです。景観を守る会4名で対応しましたが、売り出し中の空き地を見ながら、ひとりも弁護士のいない常盤台で開業してはどうか、などと冗談を言いながらの楽しい街歩きでした。

この運動をあきらめずに持続する事の大切さを感じました。裁判の資金調達の際にも多くの住民の皆さんの協力があることに感嘆されたことをお伝えしておきます。

クリスマスキャロルを

皆で歌いましょう!

— 駅前ロータリーコンサート —

12月21日(日)

5時15分~45分 (雨天中止)

場所 ときわ台駅北口ロータリー

出演 常盤台バプテスト教会聖歌隊

曲目 久しくまにし

きよこの夜

荒野のはてに その他

暖かくしてお出で下さい。

○ 感動的だった演奏

新東京アカデミー一室内合奏団

11月22日(土)午後、松原広地さん率いる新東京アカデミー一室内合奏団の演奏会が常盤台教会で行われました。

バロック音楽にふさわしい会場の素晴らしい音響効果のなか、弦楽器のやさしい音色が流れました。14名編成の楽団員に、松原さんへの花束と共にバラが1本ずつ贈呈されました。

合奏団も気持ちよく演奏できたそうですが、こんな近くで心の籠もった音楽を生で聴けるなんて、と好評でした。

今回の演奏会について、常盤台バプテスト教会をはじめ、多くの方々の暖かいご支援をいただいたことを感謝します。

また来年も企画したいと思っていますので、宜しく願います。

東京大学清水研究室からの感想

(十一月十八日(火)、東京大学社会文化環境学の清水亮さんが大学院生二人と共に訪れ、後ほど感想を寄せてくださいました。)

ときわ台には緑が多く残っており、落ち着いた住環境であると感じることができ、今後も大切にしていっていきまわちであると感じました。問題となっていて二つのマンションもこのまちにはふさわしくないということが実感できました。今後、まちのことを真剣に考えた計画ができるようなシステム作りが必要なのではないかと考えさせられました。社会人になって、もしそのようなシステム作りに携わることのできる機会がありましたら、ぜひ積極的に取り組んでいきたいと思えます。

原秀一(修士二年)

最初常盤台駅から出た時に、とても大きなマンションが駅前に建っていることから若干圧迫感を感じました。その隣に一軒のマンションが新しく建てられているのを見て、これから駅前にごんごん高層マンションが増えるかもしれないと思いました。また、いつも常盤台駅を利用して居る地域住民の方にとっては、そのマンションが私より気になるだろうと思いました。そして住民の方にお会いする前に、まちを少し歩き回りました。クルドサクやプロムナードがまちのあちこちにあって、いつも緑を楽しめることはとても印象深かったです。そして古い町並み

により、非常に心が落ち着きました。その後、住民の方にお会いして、まちに関する説明を聞かせていただきながら歩きました。そうすると、一人で、ただ自分の目で見ながら感じたこととはまた異なる感覚が生じました。古い家、狭い路地、普通に立っている桜の木などが、全部まちの中でそれなりの意味を有していることがわかりました。マンション反対運動やまちづくり運動などは積み重なってきたまちへの思い出や愛着がなければ行えない活動であると感じました。とてもいい勉強になりました。貴重なお話を聞かせていただきどうもありがとうございました。

任修廷(イム・スジョン 修士一年)

常盤台に限らず、北海道から沖縄に至る全国でマンション問題が急増しています。高さやボリュームをめぐり、建設反対の住民運動が多発し、裁判にまで至るケースも少なくありません。今回、常盤台のまちを案内していただき、またマンションをめぐる紛争やまちづくりのお話しを伺いました。自分の住まわちに関心を持ち、そのまちに起きている事態に正面から取り組もうとしている住民の方々の姿勢を拝見しまして、常盤台で起きている建築紛争も決して特異なことではなく、景観や街並みをはじめとした住環境への関心が高まりつつある時代の流れの中で、住民の皆さんの当然の主張だと感じました。建築紛争の各地の現場を訪ね歩いて勉強させていただいている者からすると、常盤台のマン

ション反対運動やまちづくり活動は、とても頑張って成果を挙げている事例だと思えます。マンション紛争の場合、運動しても建設の阻止や大幅な計画変更を勝ち取ることは容易ではなく、結果的にマンションが建ってしまうと運動も立ち消え、次のマンション計画が持ち上がってももう諦めてしまうというケースが多くあります。それに比べると、常盤台では反対運動の力をさらにまちづくりへと繋げることに成功しており、とても進んだ活動をされていると言えます。

このようなまちづくりにさらに多くの住民の方が集い、常盤台の静謐な佇まいが今後も守られていくと素晴らしいと感じました。

このまちを勉強させていただく機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

清水亮

常盤台公園の花づくり

桜の紅葉がきれいでした。赤や黄色・橙色の落ち葉を拾おうと、下ばかり見て歩いていました。

チューリップはTさんが花色を教えてくださいましたので、今年も咲いてのお楽しみですね。

定例会

一月十日(土) 七時

一・二丁目町会事務所